

## 脱炭素につながる豊かな暮らし(デコ活)の一例

### 居住空間

**太陽光発電**  
太陽光発電設備の導入で電気代が約**5.3万円/年 お得!**  
+災害時にも使える

**住宅の断熱化**  
住居の断熱リフォームで光熱費が約**9.4万円/年 お得!**  
+快適・健康にも貢献

**省エネ家電**  
エアコン・冷蔵庫買い替えで電気代が約**1.9万円/年 お得!**

**節水**  
節水型シャワーヘッドなどの導入で水道・ガス代が約**1.6万円/年 お得!**

**LED照明**  
電灯のLED化で電気代が約**3千円/年 お得!**

### 移動

**次世代自動車**  
補助金や優遇税制の活用により維持費が約**7.5万円/年 お得!**  
給油不要なら約**2時間/年 有効活用**

**自転車・徒歩**  
近距離の通勤・通学を自転車や徒歩に切り替えることでガソリン代が約**1.2万円/年 お得!**

**ごみの削減・分別**  
マイボトル活用による飲み物代の節約、ごみ削減による有料ごみ袋代の節約で約**4千円/年 お得!**

●節約額などは一定の前提を試算したものであるため、条件によって異なります。

【出典】環境省「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後」

三木市  
独自策

## 省エネ家電への買い替えに最大 **2万円** を補助

電気料金高騰による市民生活への影響を軽減し、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減を図るため、家電を省エネ性能の高いものに買い替える費用の一部を補助します。

- ▶ **対象** 市内在住で市内の店舗で既存の家電から新品または未使用の省エネ家電に買い替える方(同一年度につき1世帯1回限り)
- ▶ **対象家電** ( ) は各家電ごとに設定された省エネ基準達成率
  - ・壁掛け型エアコン(2027年度に100%以上)
  - ・壁掛け型以外のエアコンなど(2029年度に100%以上)
  - ・テレビ(2026年度に100%以上)
  - ・冷蔵庫(2021年度に100%以上)
- ▶ **補助額** 5万円以上購入した場合、購入額の20%を補助(上限2万円)
- ▶ **購入対象期間** 6月1日(出)~12月31日(火)
- ▶ **申請方法** 市ホームページにある申請書に購入家電の領収書や既存家電のリサイクル券の写しなどを添付し、郵送または窓口を持参してください。
- ▶ **申請期間** 6月3日(月)~令和7年2月28日(金)(郵送の場合は令和7年2月28日必着)

▶ **必要書類など**  
詳細はこちら

省エネ基準達成率 101% 年間消費電力 172.1kWh/年

▶ **問・申請** (市)環境政策課 環境政策係



「地球温暖化」や「SDGs」など、地球環境に関する言葉が注目されています。その中で、「脱炭素」という言葉を聞いたことがある人も多いのではないのでしょうか。脱炭素とは、温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることで、気候変動の影響による被害を回避・軽減することを目的に、120以上の国や地域が取組を進めています。

日本では、2050年に温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする「脱炭素社会(カーボンニュートラル)」をめざしており、中間年度である2030年度の温室効果ガスの削減目標を2013年度比46%削減することとしています。

この目標を実現するためには、私たち一人一人が地球の未来について考え、出来ることから少しずつ行動に移していくことが重要です。

ここでは、地球温暖化によって将来的に予測されている気候変動や、市が2021年から取り組んできた「クールチョイス」の発展型である「デコ活(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)」について紹介します。

### インタビュー / 県地球温暖化防止活動推進員 松本さん「脱炭素はみんなで！」

**2100年に予測される影響**

- 気温 **最大 6.4℃** 上昇
- 降水量 **最大 16%** 増加
- 海面水位 **最大 63cm** 上昇

【出典】環境省環境研究総合推進費 5-8 2014報告書

近年、日本だけでなく世界的に異常気象の発生頻度が高まっています。世界気象機関(WMO)によると、洪水や暴風、干ばつといった異常気象の発生件数が1970年からの50年間で5倍に増加しました。日本でもここ数年、大雨洪水の被害が多発するとともに、熱中症患者が増加しています。また、地球温暖化が進めば進むほど異常気象の頻度や強さが世界各地で増すともいわれています。

地球温暖化の要因には、これまでに自然要因と人為的な要因が考えられてきましたが、18世紀の産業革命以降に観測された気温上昇が過去2000年以上の間にならぬほどの急激なもので

あつたことから、2021年に国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)が地球温暖化の原因を「人間活動によるもの」と断定しました。このことを受けて、世界各国では、脱炭素に向けた取組が加速しています。

私たち一人一人の取組が重要

地球温暖化を防ぐために行政や企業が取組を進めていますが、私たち一人一人も省エネや使い捨て防止、リサイクルなどに取り組んでいくことで、社会の価値観が徐々に変わっていくのだと思います。

次世代を担う子どもたちに、持続可能な社会を残すことが今の大人たちの責務だと考えています。

兵庫県地球温暖化防止活動推進員  
みつぞい☆エコ★クラブ  
代表 **松本 弘 さん**